

学校 教育 目標	「生きる力にあふれる子」 ○主体的に問題に働きかけ、自分らしさを発揮しながら粘り強く解決していこうとする子を育てます。(知) ○互いのよさを認め合い、共に生きていこうとする子を育てます。(徳) ○自分や他者の生命を大切に、自ら進んで健康な生活をしようとする子を育てます。(体) ○地域に愛着をもち、自分から地域社会に関わろうとする子を育てます。(公) ○より広い視野で行動しようとする子を育てます。(開)					
	学校 概要	創立 46 周年	学校長 藤田 陽子	副校長 川村 良児	2 学期制	一般学級: 11 個別支援学級: 2
		児童生徒数: 277 人	主な関係校: 横浜市立橋中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		<p>○自他を大切に、互いに認め合える子ども ○言語能力を高めながら、自ら進んで学ぶ子ども</p> <p>年2回の合同授業研究会において、6月の中学校開催の際は、「自分づくり」の資質能力の育成を中心テーマとし、中学1年生の授業を通して、生徒の現在の姿や小学校での様子について情報・意見交換し、生徒指導に生かす。10月の小学校開催の際は、「言語能力」の資質能力を中心テーマとし、4小学校で教科を分担して情報・意見交換し、日々の授業やカリキュラム作成に生かす。</p>
<自分づくり> <言語能力>	橋中学校 今井小学校 仏向小学校 初音が丘小学校 藤塚小学校	

中期 取組 目標	<p>○一人ひとりを大切に、まちとともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着を図り、子どもの表現力を育て、学力の向上を図ります。 ・様々な「人」「こと」とのかかわりの中で、互いに認め合い、自己有用感を感じることができる学校づくりを行います。 ・子どもたちが安心して過ごせる、安全な学校づくりを行います。 ・家庭・地域とともに子どもたちを育て、人とのかかわり合いを通して、学びの充実を図ります。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	スキルタイムでは、学習に沿った問題を準備して児童の意欲を高めたり、全学年一斉に補充の時間を設けたりして基礎基本の定着を図る。授業を通して、様々な言葉にふれて語彙力を高めたり、学習形態を工夫して発言の機会を増やしたりして、表現力の向上を図る。家庭学習では、家庭の協力を仰ぐだけでなく、授業との効果的なつながりを意識して課し、学習内容の定着を図る。
担当 評価・課程委員会	
豊かな心	児童会活動を中心に進んであいさつをすることを育み、人とのかかわりを深める。縦割り活動(絆活動)を計画的に実施し、異学年の充実を図る。「特別の教科道徳」学習や学級、学年での様々な学校生活を通して、人への思いやりの心を育てていく。
担当 特別支援委員会	
健やかな体	委員会活動や縦割り活動、学級活動の中で児童が外遊びの楽しさやよさを実感できるような支援をし、外遊びを継続的に促す。歯みがきタイムを継続し、磨き方にも意識を向けさせる。養護教諭や栄養職員と連携を図り、健やかな心や体、食の大切さなどについて考える機会を設け、健康的な生活を送れるよう支援する。
担当 保健安全環境委員会	
教育課程 学習指導	小中ブロックや地域などと連携したり、児童の実態を的確に踏まえたりするだけでなく、研修を重ねて新学習指導要領の改訂の意図を理解し、カリキュラムを作成する。重点研究や学年で連携した教材研究を十分に行い、指導力の向上に努め、分かる授業・考える授業作りをめざす。
担当 評価・課程委員会	
児童生徒指導	YPアセスメント等を活用することにより、児童の人間関係を把握して、組織的に適切な支援を行う。藤塚スタンダードを定期的に見直し、指導のあり方について教職員全体で共通理解を図り、規範意識を育む指導を継続的に行う。
担当 特別支援委員会	
地域連携	ふじっ子育成懇話会(学校評価委員会)などで、学校評価の結果や改善点の提示を通して学校経営方針への理解を深め、地域の意見を生かした学校づくりに努める。活動に見通しをもち、計画的に地域コーディネーターや各ボランティアさんとの連携を図る。
担当 保健安全環境委員会	
特別支援教育	個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成し、個に応じたよりよい支援、指導を実施する。児童支援専任・特別支援コーディネーターを中心として、様々な研修や情報交換などを定期的に行ったり、他機関と連携したりしながら児童理解に努める。
担当 特別支援委員会	
担当	
いじめへの対応	「藤塚小学校いじめ防止基本方針」を基に、全職員でいじめ根絶に向けて取り組む。学年やブロックなどで情報共有を行ったり、定期的にいじめ防止対策委員会を開催したりしながら児童の実態を把握し、全職員で情報を共有しながらいじめの未然防止、早期発見・解決に努める。いじめアンケートの実施やYPアセスメントの活用等を通して、児童の人間関係を把握し、よりよい集団作りができるようにする。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	校内外の研究・研修を通して、授業及び学級経営など様々な指導力のさらなる向上に努める。メンターチームの活動を教職員全体で支援し、共に実践していくことで、個々の教職員の指導力や全体の組織力を高められるように努める。校長を中心に全職員で働き方についての意識改善を図る。
担当 働き方改革委員会	